

宿泊事故14件、死亡2件

市内の事業所 デイサービス 識者「管理体制確認を」

二〇〇九年度以降、デイサービス（通所介護）事業所が利用者を宿泊させた際に、二件の死亡事故を含む十四件の事故があり、インフルエンザなど感染症が四件あった。川崎市などの調査に対し、市内の各事業所がこうした報告を行っていたことが、五日の市議会（三月定例会）予算審査特別委員会で分かった。三宅隆介氏（無所属）の追及に、市が明らかにしたもので、低所得層高齢者の福祉問題が浮き彫りになった。

市によると、昨年十一月現在で市内の三十事業所が宿泊サービスをしている。送迎なしででき事業所の稼働率が高まる点もあり、「お泊まりデイサービス」として全国的に行われている。

本来のデイサービスは介護保険の枠内で、事故が起きると事業所は市に報告義務があるが、宿泊は枠外の自主事業のため報告義務も

市によると、昨年十一月現在で市内の三十事業所が宿泊サービスをしている。送迎なしででき事業所の稼働率が高まる点もあり、「お泊まりデイサービス」として全国的に行われている。

本来のデイサービスは介護保険の枠内で、事故が起きると事業所は市に報告義務があるが、宿泊は枠外の自主事業のため報告義務も

なく、今回分かったのも任意報告分。死亡事故の二件はいずれも食事の誤嚥などによる窒息が原因。ほかには転倒事故などがあった。三宅氏は質問で「中には六畳一間に六、七人を寝かす劣悪な条件も聞いている」と指摘し、市で独自基準を設けるよう求めたが、木村実健康福祉局長は「四月から地域主権改革でデイサービスの指定や指導権限が県から市に移る。今後適切な

市によると、昨年十一月現在で市内の三十事業所が宿泊サービスをしている。送迎なしででき事業所の稼働率が高まる点もあり、「お泊まりデイサービス」として全国的に行われている。

本来のデイサービスは介護保険の枠内で、事故が起きると事業所は市に報告義務があるが、宿泊は枠外の自主事業のため報告義務も

なく、今回分かったのも任意報告分。死亡事故の二件はいずれも食事の誤嚥などによる窒息が原因。ほかには転倒事故などがあった。三宅氏は取材に対し、「本来のショートステイが一泊約二千円（要介護度などで異なる）で利用できる一方、お泊まりデイは実費八百～千円が相場。劣悪な条件でも利用する背景には、低所得者や、ほかに行き場のない高齢者がやむなく使いう実態があるのではないか」と話している。

介護保険ではデイサービスとショートステイの二つは異なるが、宿泊は枠外の自主事業のため報告義務もない。

（山本哲正）

対応を図りたい」と述べるにどぎました。三宅氏は取材に対し、「本来のショートステイが一泊約二千円（要介護度などで異なる）で利用できる一方、お泊まりデイは実費八百～千円が相場。劣悪な条件でも利用する背景には、低所得者や、ほかに行き場のない高齢者がやむなく使いう実態があるのではないか」と話している。

（山本哲正）

イなどを組み合わせた「小規模多機能型居宅介護」があり、四月からはさらに訪問看護も加えた新サービス形態も導入される。しかし制度の枠内で施設を整備する負担があるため十分に普及せず、お泊まりデイが制度の谷間ながらもニーズがあるのが実情だ。

東京都は昨年五月、一室七・四三平方㍍以上で、一室定員は原則一人とするなどの独自基準と届け出、公表制度を始めている。

橋本正明・元立教大

学コムニティ・イ・リ・ハ・ラ・ス

研究センター（仮称）では自家発電施設を屋上に設置するよう計画変更したことを明らかにした。『国立医薬品食

品衛生研究所の整備で災で死者を出した群馬

県の老人施設「静養ホ

ームたまゆら』と同じく、グレーゾーンならではの問題がある」と指摘。「劣悪な環境のお泊まりデイサービスもあると聞く。夜の見

守り、食事の管理体制がしっかりしているかが課題だ。サービスの質を確認できるように質を確認できる」と話している。

屋上に自家発電設置 市議会 津波対策、殿町の施設に特別委員会

川崎市議会は五日、三月定例会の予算審査特別委員会を開き、市議十二人が二〇一二年度予算案などに関連した質問をした。

殿町地区の津波対策を三宅隆介氏（無所属）が質問すると、飛弾良一総合企画局長は

「県の津波浸水予測図素案では津波による浸水の影響を受けにくい」としつつ、市の健

康安全研究所などが入居する産学・公連携研究センター（仮称）では自家発電施設を屋上に設置するよう計画変更したことを明らかにした。『国立医薬品食

品衛生研究所の整備で災で死者を出した群馬

県の老人施設「静養ホ

ームたまゆら』と同じく、グレーゾーンならではの問題がある」と指摘。「劣悪な環境のお泊まりデイサービスの質を確認できるように質を確認できる」と話している。